

令和7年度第1回 川越市観光振興計画審議会

第1回会議資料

令和7年5月22日

報告

- (1) 次期川越市観光振興計画の策定について
- (2) 現計画の評価
- (3) 本市の観光に係る現状

(1)次期川越市観光振興計画の策定について

1 概要

本市の観光振興の指針である第二次川越市観光振興計画は、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画年度(令和4年度に改訂)としており、令和7年度末で現計画の期間満了を迎えます。

大きく変化する社会情勢や本市の観光を取り巻く環境の変化、及び課題等を踏まえ、令和8年度を始期とする次期川越市観光振興計画(計画期間5年を予定)を策定することとします。

2 策定方針

令和6(2024)年の訪日外国人旅行者数は、3,686万9,900人を記録し、過去最多となりました。本市においても、観光客数がコロナ禍前の水準に戻りつつあります。コロナ禍を経て、持続可能な観光行政を進めるためには、先進的な技術を活用した観光分野のDX化や観光客増加に伴うオーバーツーリズム対策等を推進する必要があります。

これらを計画に位置付け、着実な観光振興を図っていくため、次期川越市観光振興計画を策定します。

(1)次期川越市観光振興計画の策定について

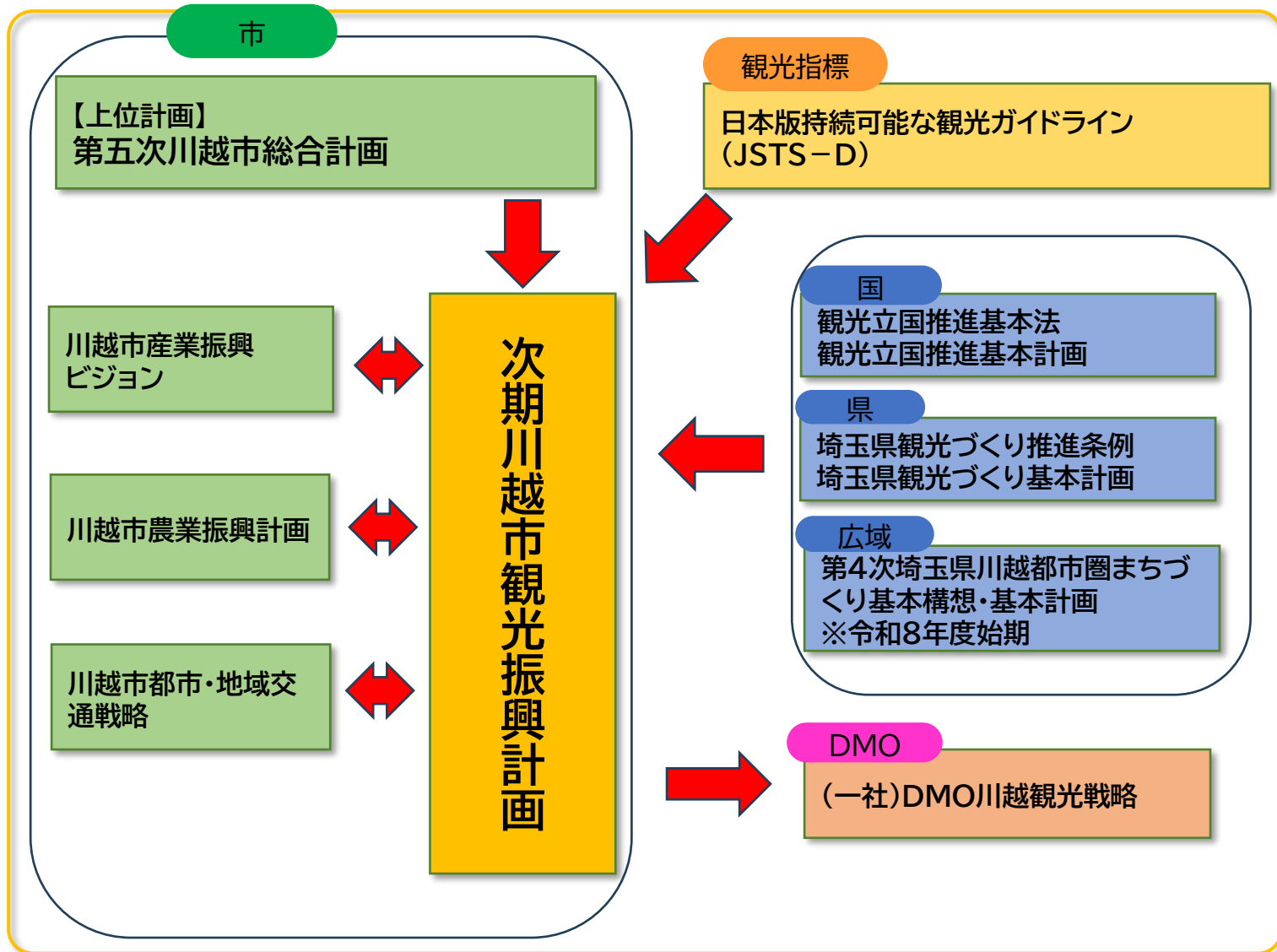
3 計画期間

第一次及び第二次の計画においては10年間としてまいりましたが、昨今の観光を取り巻く環境の変化度合いが早く、計画策定も迅速かつ柔軟な対応が求められることから、次期計画では計画期間を**5年**とします。



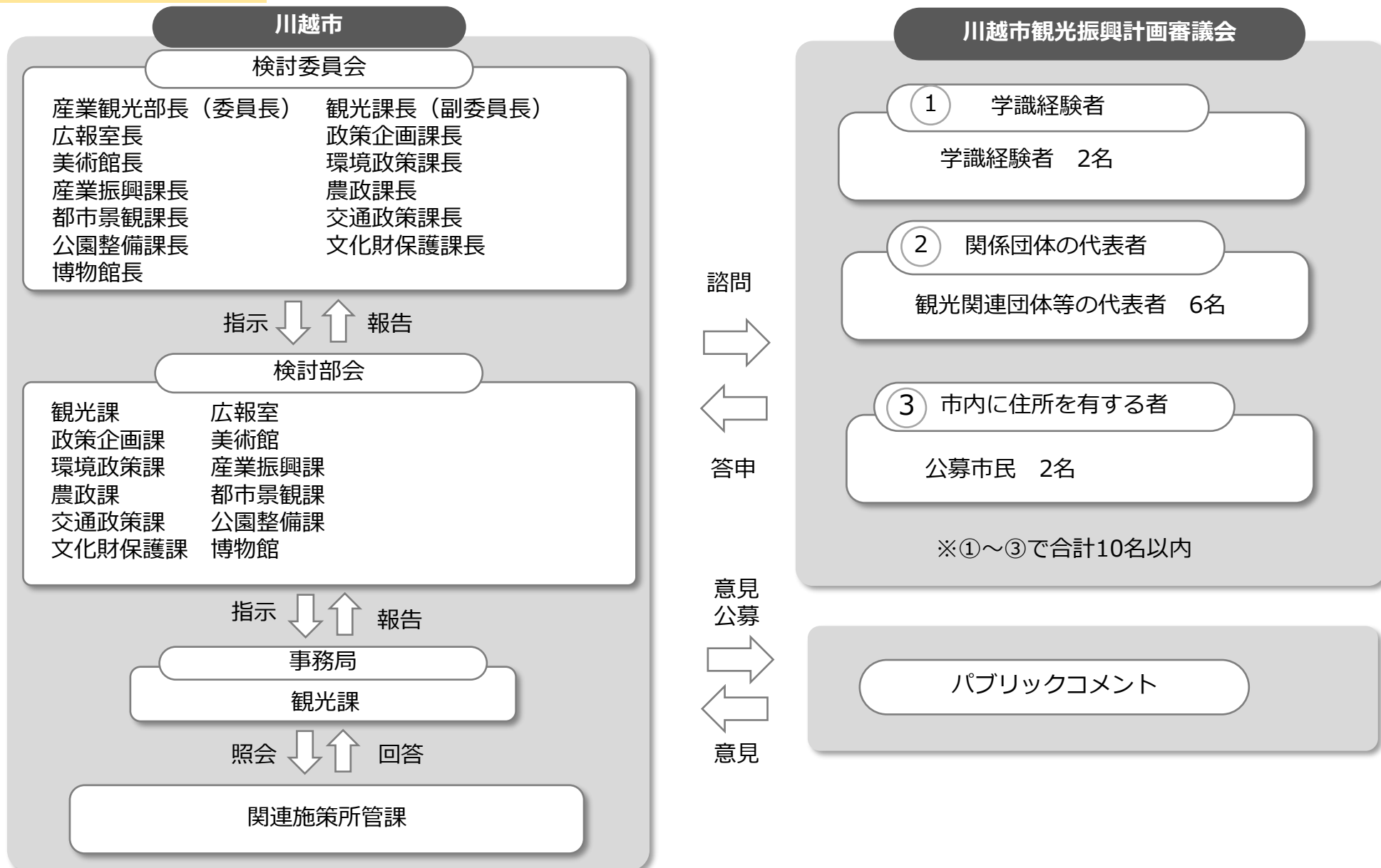
(1)次期川越市観光振興計画の策定について

4 計画の位置づけ



(1)次期川越市観光振興計画の策定について

5 策定体制



(1)次期川越市観光振興計画の策定について

6 策定スケジュール(予定)

内容	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全体	諮問 5/22 骨子案(理念・方針・政策)作成	骨子案、素案作成			原案作成		最終案作成		答申 1月中旬 印刷・納品 1月下旬	議会報告
関係課 担当者11名	第1回 5/8	6月議会		第2回 8/1	9月議会	第3回 10/7	庁議 11/5	12月議会		
検討部会	・報告 ・本市の課題 ・次期計画の目指す姿 ・次期計画の骨子案			・次期計画の骨子案 ・次期計画の素案		次期計画の原案				
関係課 課長11名	第1回 5/12			第2回 8/7		第3回 10/10		第4回		
検討委員会	・報告 ・本市の課題 ・次期計画の目指す姿 ・次期計画の骨子案			・次期計画の骨子案 ・次期計画の素案		次期計画の原案		・パブコメ結果報告 ・次期計画の最終案		
学識経験者2名 関係団体の代表者6名 公募市民2名	第1回 5/22			第2回 8/18		第3回 10/23		第4回		
審議会	・委員の委嘱 ・会長・副会長の選出 ・諮問 ・報告 ・本市の課題 ・次期計画の目指す姿 ・次期計画の骨子案			・次期計画の骨子案 ・次期計画の素案		次期計画の原案		・パブコメ結果報告 ・次期計画の最終案 ・答申について		

(2)現計画の評価

評価項目

評価1

施策全般及び基本方針
毎の評価

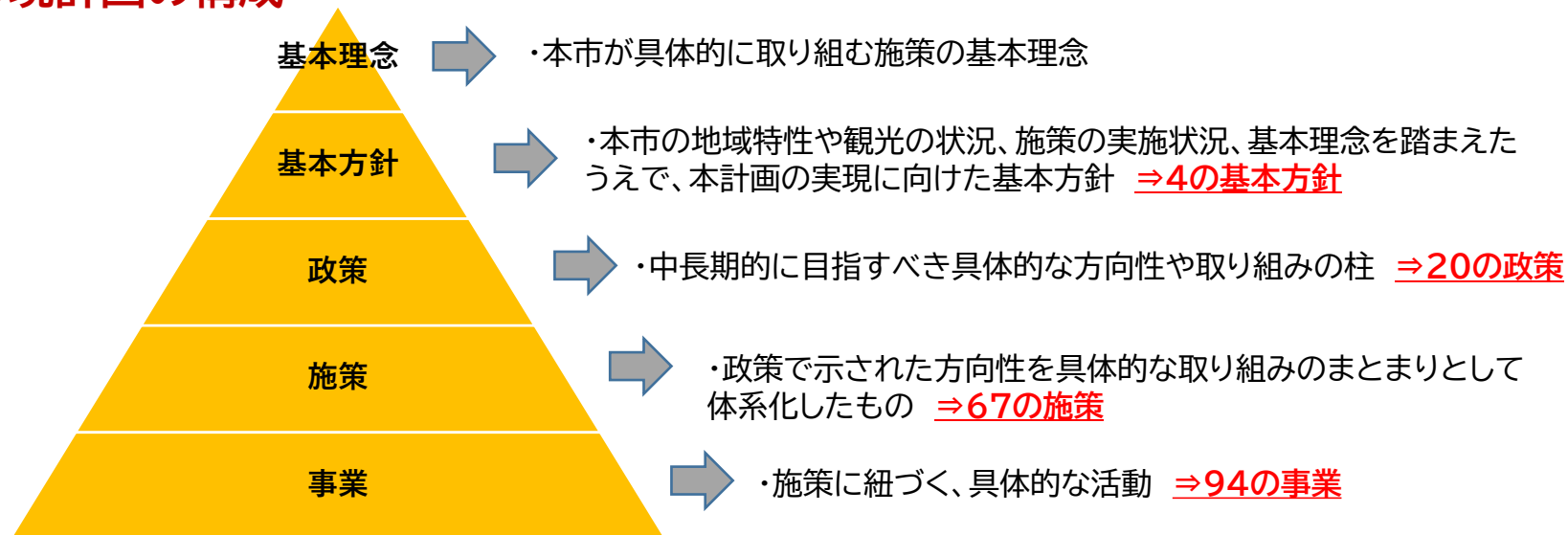
評価2

戦略的重点
施策の評価

評価3

数値目標の
評価

●現計画の構成



●評価項目

評価1

事業の進捗状況について、事業を所管している庁内各課及び関係団体に調査しました。その達成率(0%～100%)に基づいてAからFまでの評価を行い、**施策全般及び基本方針毎の進捗状況を評価**しました。

評価2

本市の観光に係る課題を解決するために、優先度が高く、集中的に実施する必要性が高い施策として位置付けた**戦略的重点施策の進捗状況を評価**しました。

評価3

現計画の実現に向けて設定した8つの数値目標について、令和6年実績値と令和7年度目標値を比較し、**数値目標の進捗状況を評価**しました。

(2)現計画の評価

評価項目

評価1

施策全般及び基本方針毎の評価

評価2

戦略的重点施策の評価

評価3

数値目標の評価

●施策全般の評価

AからCの評価が全体の91%となっており、特に基本方針2及び4は、A及びBの評価が80%を超えていることから、順調に進捗しているという結果となりました。

一方で、「基本方針1 新たな観光をつくりだそう」では、A及びBの評価が63%、Dの評価が10%であり、他の基本方針と比べると進捗が遅れている傾向にあることがわかりました。そのため、本方針の内容である川越の観光資源の発掘や磨き上げ、関係団体等と連携した川越の魅力発信、時間・場所の分散化、情報発信について今後より比重を高めていく必要があります。

また、「基本方針3 安心して観光を楽しめる環境をつくろう」では、EとFの評価が含まれていたものの全体的には順調に進捗しているという結果となりました。そのため、本方針の内容である観光客が安全に安心して観光ができるよう観光環境の整備、住民と観光客の共存に配慮した観光環境づくりを進めていく必要があります。

●基本方針1 新たな観光をつくりだそう

中心市街地の特に日中に観光客が集中する現状も踏まえ、観光エリアの拡大や滞在時間の延伸を図る必要があります。また、本市が有する文化資産、伝統の有効活用や更なる魅力の向上による国内外からの誘客促進を図っていく必要があります。

●基本方針2 外国人も楽しめる川越を演出しよう

観光施設の多言語化や観光サインの整備等、外国人観光客の受入環境整備は進んでいます。今後ますます増加が見込まれる外国人観光客に向けて関係団体等と連携した体験事業等のインバウンド施策、外国人が安心して川越観光を楽しめる観光環境づくりを継続して進めていく必要があります。

●基本方針3 安心して観光を楽しめる環境をつくろう

観光客が楽しんで川越観光ができるよう景観の保存や観光環境の整備、インフラ整備は進んでいます。一方で、観光客の集中による交通渋滞や歩行の安全性の低下が課題となっていることから、交通の安全性に向けた取り組みは継続していく必要があります。

●基本方針4 地域全体で観光まちづくりを進めよう

市民や関係団体、周辺地域と連携した事業について、概ね進めることができました。持続可能な観光地づくりには多くの関係者との連携が重要であることから、更なる連携強化及び役割分担の明確化が必要です。

(2)現計画の評価

評価 1 データ①

評価項目

評価1

施策全般及
び基本方針
毎の評価

全体の進捗状況(中間)

令和 6 年度進捗状況（達成数）

評価	A	B	C	D	E	F	合計
全体	31	33	22	7	1	1	95
基本方針 1	9	17	11	4	0	0	41
基本方針 2	10	2	2	1	0	0	15
基本方針 3	9	9	8	1	1	1	29
基本方針 4	3	5	1	1	0	0	10

※全体の事業数は94ですが、事業No.66が指標を2つ設けているため、合計が95となっています。

進捗状況評価の見方

評価	A	B	C	D	E	F
達成率	100%	75～99%	50～74%	25～49%	1～24%	0%

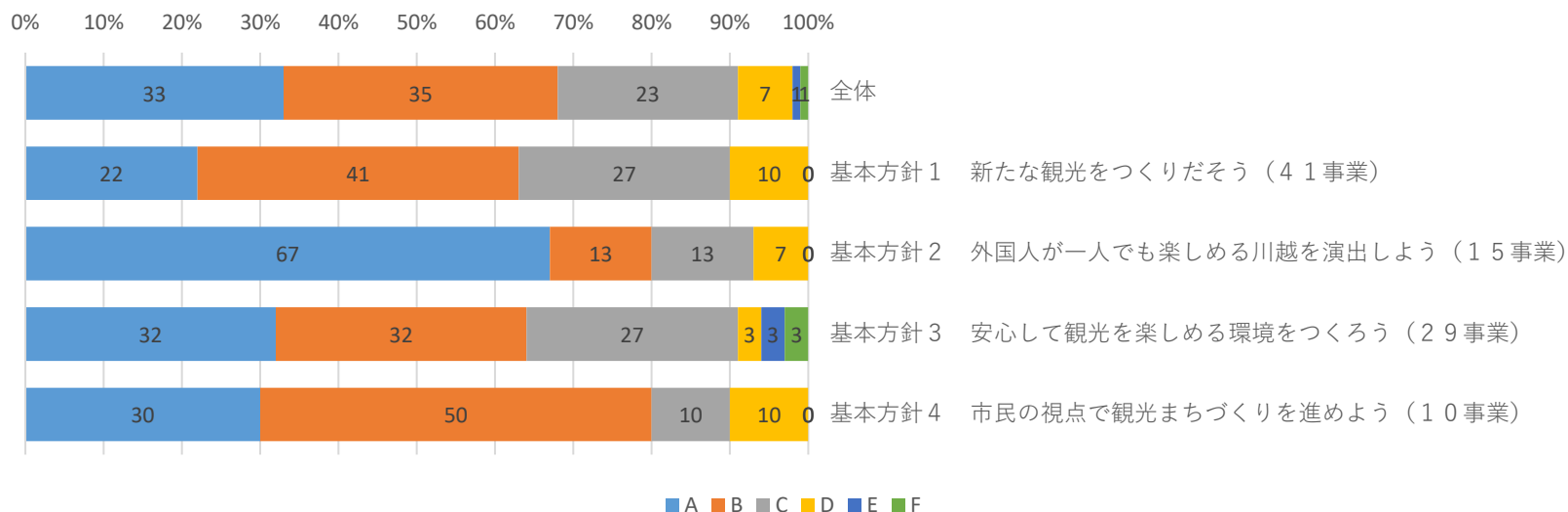
評価2

戦略的重点
施策の評価

評価3

数値目標の
評価

令和 6 年度進捗状況（達成率）



(2)現計画の評価

評価 1 データ②

評価項目

評価1

施策全般及
び基本方針
毎の評価

評価2

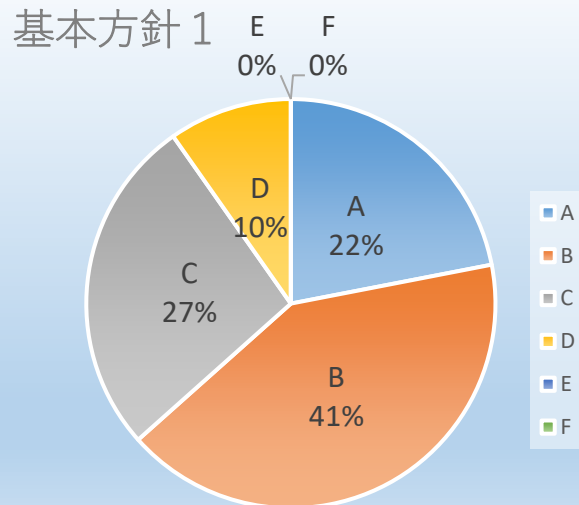
戦略的重点
施策の評価

評価3

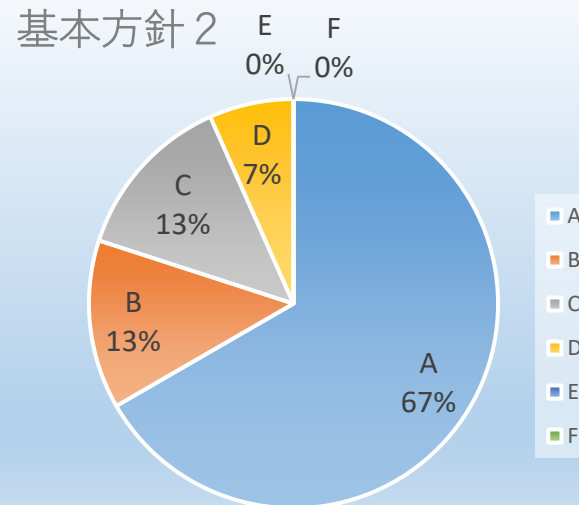
数値目標の
評価

基本方針毎の割合

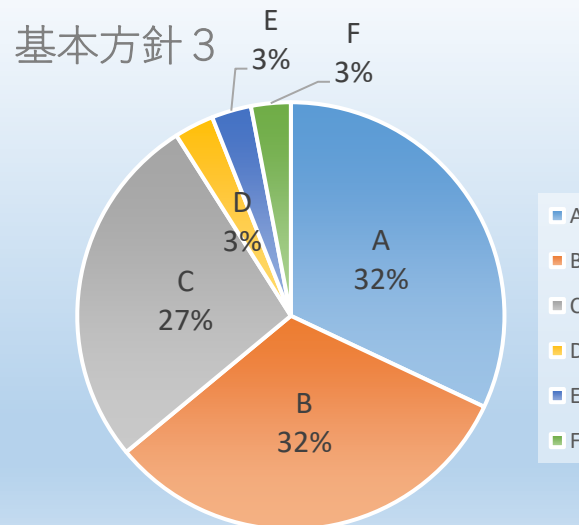
基本方針 1



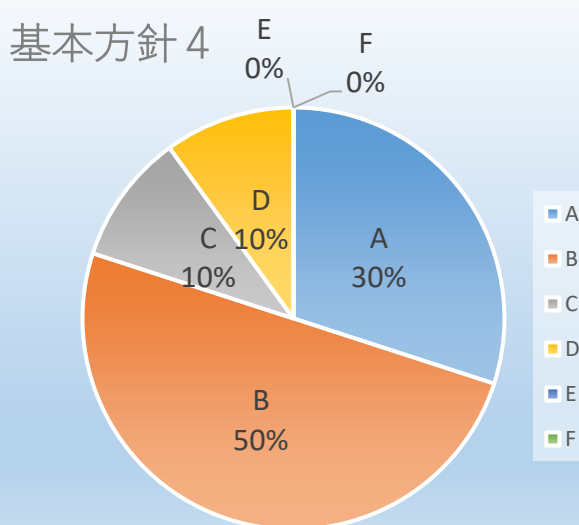
基本方針 2



基本方針 3



基本方針 4



(2)現計画の評価

評価 1 データ③

評価項目

評価1

施策全般及
び基本方針
毎の評価

年度別達成状況の変化

評価（達成数）	A	B	C	D	E	F	合計
令和4年度	5	3	8	40	29	9	94
令和5年度	14	13	37	25	3	2	94
令和6年度	33	35	23	7	1	1	100

※令和6年度の合計について
全体の事業数は94ですが、事
業No.66が指標を2つ設けて
いるため、合計が95となって
います。

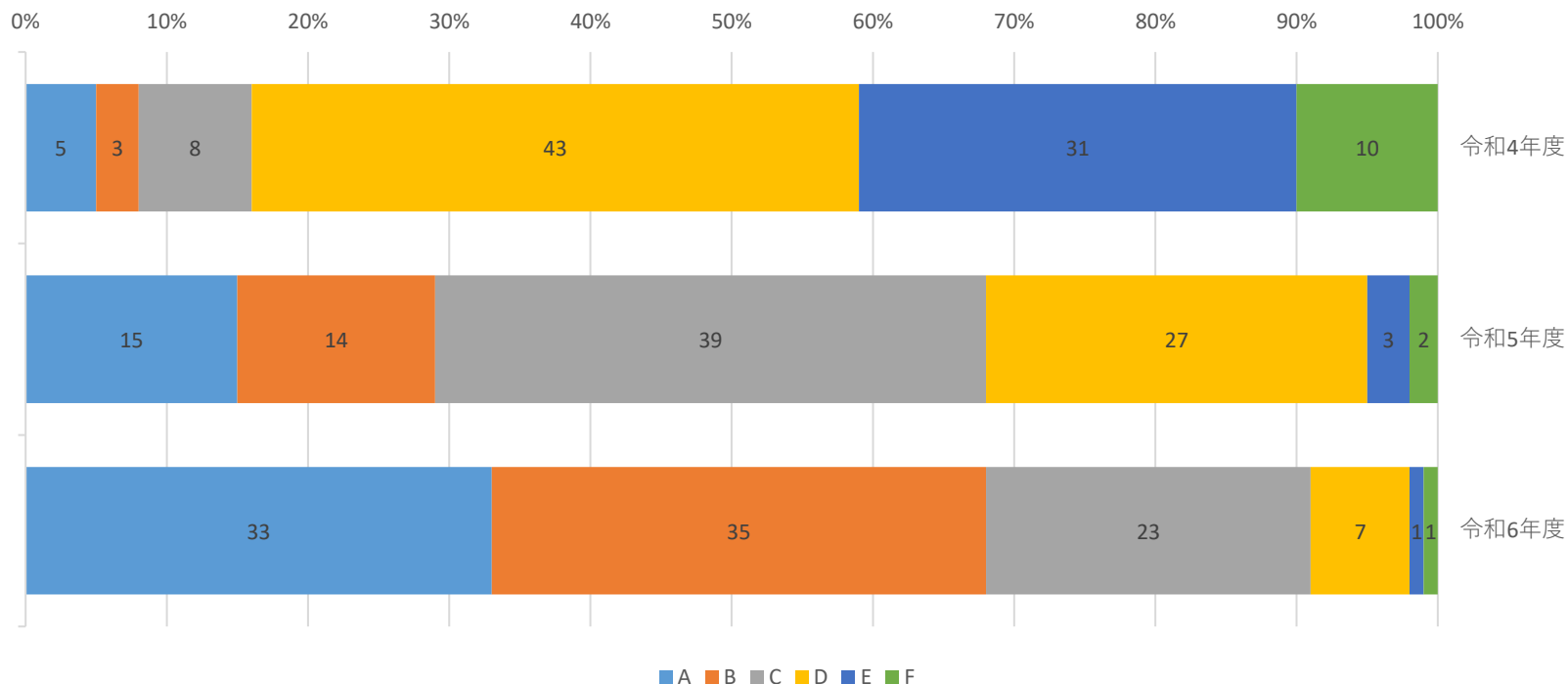
評価2

戦略的重点
施策の評価

評価3

数値目標の
評価

年度別達成状況の変化（達成率）



(2)現計画の評価

評価項目

評価1

施策全般及び基本方針
毎の評価

施策24 回遊性の向上
施策25 早朝・夜間の観光の推進

共に評価Aですが、観光時間4時間以上の割合が令和6年度は45.4%であり、目標値65%以上には及ばないため、引き続き観光時間を延ばしていくための施策が必要です。

施策28 観光客の動態把握
施策29 SNS等による観光情報の発信
施策32 デジタル技術を活用した情報発信と観光案内サービスの推進

概ね順調に進捗していますが、世界的なデジタル技術の進化、観光分野におけるDX化の進展に後れを取らぬよう本市においても引き続きデジタル技術を活用した施策が必要です。

評価2

戦略的重点
施策の評価

施策33 外国人観光客の受入環境の整備

評価Aですが、外国語による公衆無線LANの利用回数は年々減少傾向にあります。一方で、増加傾向にある外国人観光客に対応するため、多言語対応や外国人観光客のニーズに対応した受入環境の充実が必要です。

施策47 一番街周辺の交通円滑化方策の検討
施策50 観光客の増加対応

施策47の評価はA。施策50の評価はCとなっておりますが、具体的な事業である観光客増加対応事業(GW対応、商店街等の自主的なごみ回収に係る支援)の実施予定から令和7年度には評価Aとなる見込みですが、引き続き交通安全性の不足とゴミ環境問題に対応していく必要があります。

評価3

数値目標の
評価

施策64 観光協会、商工会議所、DMO川越、商店街等との連携強化
施策67 広域観光の推進

共に令和7年度には評価Aとなる見込みですが、地域全体の活性化に繋げるため、他の地方公共団体や観光関係者等とのネットワークをより活用する必要があります。

(2)現計画の評価

評価項目

●数値目標の評価

評価1

施策全般及
び基本方針
毎の評価

評価2

戦略的重点
施策の評価

評価3

数値目標の
評価

指標1 観光客数

令和6年は735.8万人でした。順調に増加しており、今後も伸びることが想定されます。

指標2 観光客のリピーター割合

令和2年に目標値60%を超え、順調に伸びています。

指標3 外国人観光客数の割合

令和5年に目標値3%を超え、令和6年は10.5%でした。今後も伸びることが想定されます。

指標4 観光時間半日以上の観光客割合

令和3年以降目標値65%を大きく下回っております。本指標の割合を増加させることが課題となっております。

指標5 宿泊観光客割合

令和元年以降、目標値2.8%を超えておりますが、日帰り観光客が多いという特徴には変わりなく、本指標の割合を増加させることが課題となっております。

指標6 観光地立ち寄り箇所

基準値を大きく下回っており、増加が課題となっております。

指標7 平均観光消費額

令和3年以降、増加が続いていますが、増加の要因の一つに物価高騰の影響も考えられます。持続可能な観光地づくりには観光消費額の増加が課題であると考えられます。

指標8 市民の観光に対する重要度

令和5年に実施された調査において、重要度は増加していますが、全体の平均値も増加しており、依然、目標値である全体の平均値以上には達していません。市民の観光に対する重要度を上げることが課題となります。

(2)現計画の評価

評価 3 データ

評価項目

評価1

施策全般及び基本方針
毎の評価

評価2

戦略的重点
施策の評価

評価3

数値目標の
評価

No.	指標 (単位)	平成26年 (2014) 基準値	令和元年 (2019) 実績値	令和2年 (2020) 実績値	令和3年 (2021) 実績値	令和4年 (2022) 実績値	令和5年 (2023) 実績値	令和6年 (2024) 実績値	令和7年 (2025) 目標値	令和6年実績値と目標値の比較 及び進捗状況評価		
1	観光客数（万人）	657.9	775.7	385.0	392.0	550.9	719.1	735.8	750	○	令和元年に一度目標値を越しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年に大幅に減少。徐々に回復してきており、 今後、<u>も伸びることが想定されます。</u>	
2	観光客のリピーターの割合（％）	46.3	53.2	64.5	72.1	71.2	71.3	74.5	60.0	○	令和2年に目標値を越え、以降も継続して目標値を大きく上回っています。	
3	外国人観光客数の割合（％）	1.1	4.0	1.0	0.7	1.8	11.7	10.5	3.0	○	令和元年に一度目標値を越しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に大幅に減少。令和5年に目標値を超えました。	
4	観光時間半日以上 の観光客割合（％）	55.6	66.8	69.5	33.8	40.6	43.5	45.4	65.0	×	令和元年及び令和2年に目標値を越えましたが、令和3年以降は目標値を大きく下回っており、 本市表の割合を増加させることが課題となっております。	
5	宿泊観光客割合 （％）	2.8	5.5	4.7	5.1	5.8	8.2	8.4	4.0	○	令和元年以降、目標値を越えて順調に進捗しています。 評価としては○としますが、<u>日帰り観光客が多い状況には変わりなく、本市表の割合を増加させることが課題となっております。</u>	
6	観光地立ち寄り箇所 （箇所）	4.4	3.5	3.8	3.9	3.8	3.6	3.6	8	×	基準値を大きく下回っており、 増加が課題となっております。	
7	平均観光消費額 （円）	4,166	4,376	4,034	6,280	6,655	6,693	7,698	5,200	○	令和3年に目標値を超え、以降も順調に増加が続いております。 しかし、<u>増加の要因の一つに物価高騰の影響も考えられ、評価としては○としますが、持続可能な観光地づくりには観光消費額の増加が課題であると考えられます。</u>	
8	市民の観光に対する 重要度 ※①	(新たな観光事業 の推進) 0.73 (観光環境の整備) 0.79 ※重要度の平均値 0.91					(観光の振興) 0.81 ※重要度の平均値 0.92		(観光の推進) 0.85 *重要度の平均値 0.98	全体の平均値 以上	×	令和5年に実施された調査において、重要度は増加していますが、全体の平均値も増加しており、依然、目標値には達していません。 市民の観光に対する重要度を上げることが課題となります。

【進捗状況及び傾向】				
傾向				
内容	目標値に到達または目標値を越えて進捗	目標値に向かって順調に進捗	基準値と変わらないまたはほぼ横ばいで進捗	基準値より悪化または減少して進捗

(3) 本市の観光に係る現状

振興計画を策定する際に利用している、または利用予定のデータ * ()は情報元

入込観光客数 (DMO川越)

- ・平成27年から令和6年までの統計資料
- ・令和3年から、主要4エリア(一番街周辺、川越氷川神社周辺、喜多院周辺、伊佐沼周辺)においては、より正確な数字を把握すべくスマートフォン等の位置情報データ(GPSデータ)を活用。

川越市市民意識調査 (広聴課)

市民意識調査は、市民の行政に対する意向・要望・生活環境・重点施策・定住意識等の実情を的確に把握し、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料とすることを目的としており、3年ごとに実施。

川越市観光アンケート調査 (DMO川越)

令和3年から、株式会社Agoop(ソフトバンクの子会社で位置情報ビックデータ事業を行う企業)が提供する健康アプリ「WalkCoin(アルコイン)」を通じて観光アンケート調査を実施しています。

川越市市民満足度調査 (政策企画課)

川越市総合計画の各施策について、「市民がどれだけ満足しているか(満足度)」、「どのようなことを重視しているのか(重要度)」等について調査し、第五次川越市総合計画の策定及び今後の市政運営の基礎資料として活用することを目的として実施したものです。

観光白書 (観光庁)

旅行・観光消費動向調査」、「宿泊旅行統計調査」、「インバウンド消費動向調査」、「訪日外国人旅行者数」、「旅行・観光消費動向調査」など。

(3)本市の観光に係る現状

入込観光客数より

データから見る現状

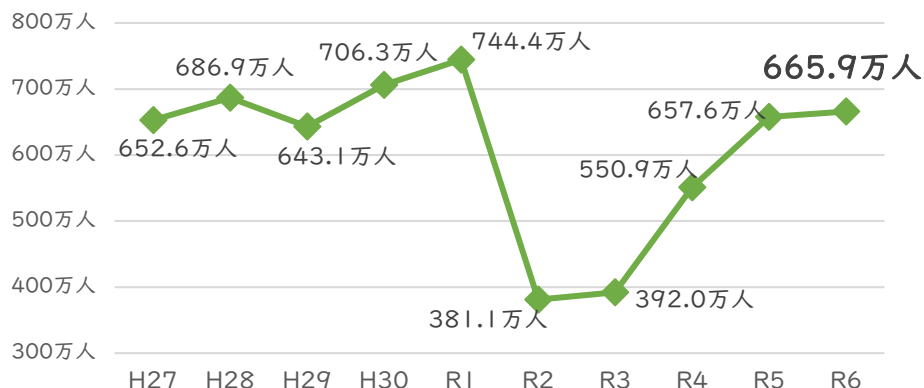
令和6年 川越市入込観光客数の概要

国内

国内観光客数は、665万9千人

令和5年に比べて101.26%と微増。
コロナ前である令和元年と比べると89.5%となっています。

【国内】入込観光客数の推移(過去10年間)



外国人

外国人観光客数は、69万9千人

外国人観光客数は令和5年比113.66%増加。

【外国人】入込観光客数の推移(過去10年間)



国内外の観光客数は、前年と比べて変動幅が少なかった

新型コロナウイルス感染症収束に伴う旅行による移動が2年前、昨年ほどの差異がなくなったこと、及び、本市の受け入れ環境等も大きな変化がなかったことから、対前年比102.32%に止まり、変動幅が少なかったと考えられる。

国内・外国人を合わせた観光客数は、735万8千人

外国人観光客数は全国と比較して鈍化傾向

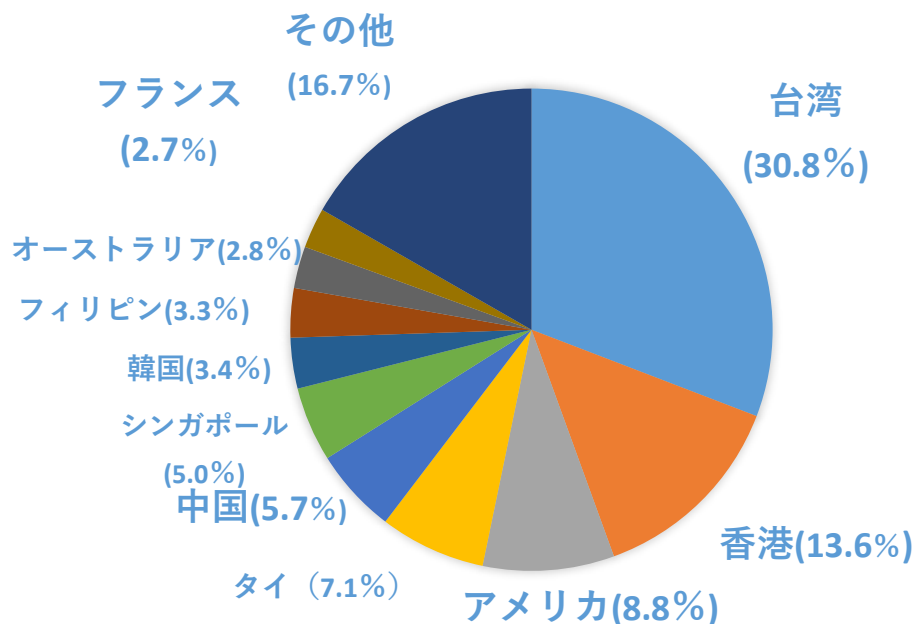
JNTO(日本政府観光局)による訪日外国人旅行客数(推計値)は、36,869,900人(対前年比147.1%)。本市の外国人観光客数は69万9千人で、前年比113.66%であったため、国全体の伸び率と比較して、鈍化傾向。

その要因として、コロナ禍が明け、訪日外国人旅行者の行動範囲が大都市圏中心から全国へより拡大・分散したことが推測される。

(3)本市の観光に係る現状

データから見る現状

(令和6年度) 観光案内所と川越まつり会館の 国籍別利用者TOP10

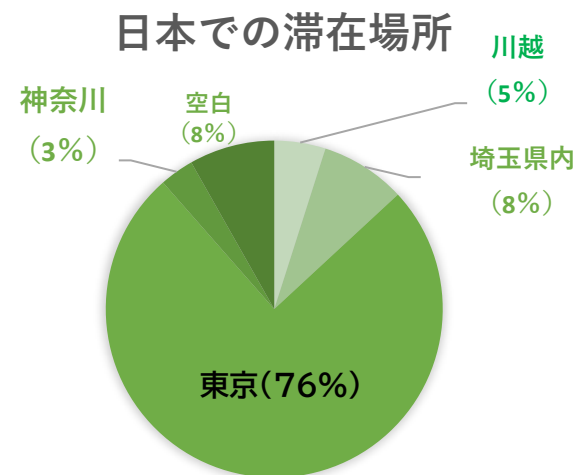


6 割以上がアジア圏からの観光客

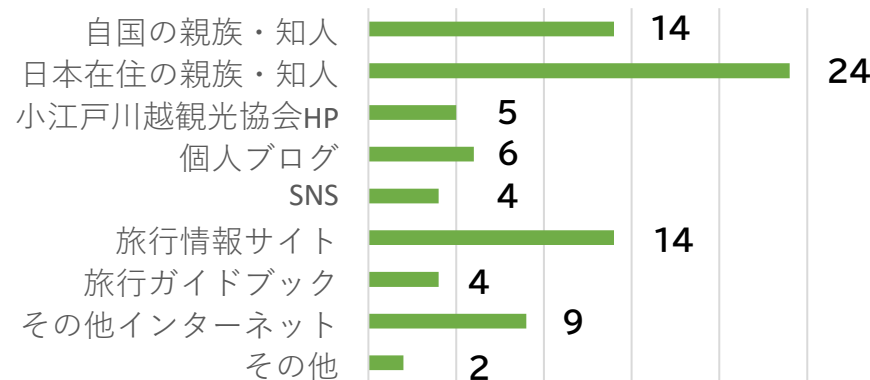
自国・日本在住の親族知人から川越を知った方が**多い**

川越まつり会館で行った 訪日外国人向けアンケート

調査期間:2023.11.1~2024.1.10
調査人数:61人



川越をどのように知りましたか

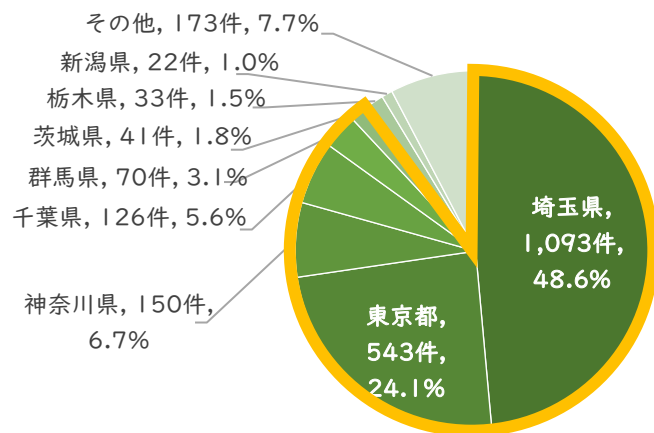


(3)本市の観光に係る現状

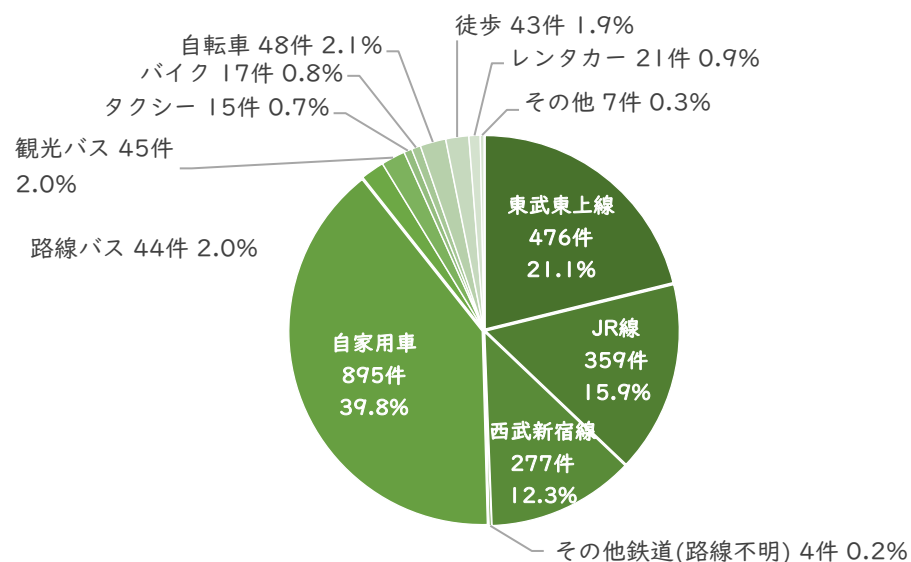
観光アンケート調査より

データから見る現状

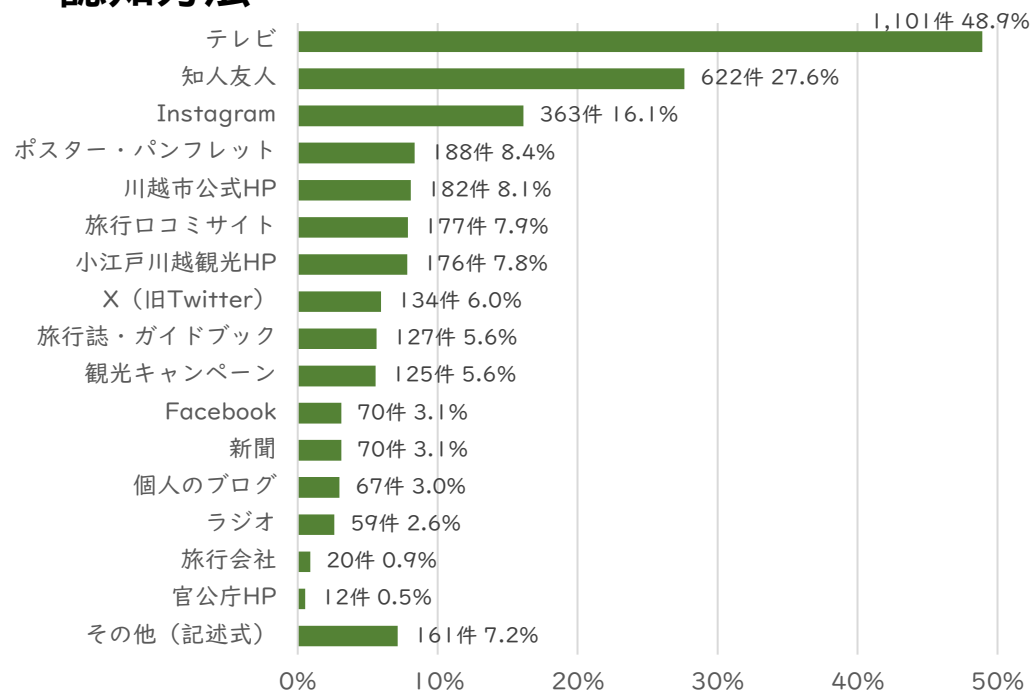
観光客の出発地



交通手段



認知方法



・埼玉県内、都内からの観光客が半数以上で、
関東地方からの方が**9割**を占める

・関東からの出発地が多いためか
鉄道の利用と自家用車が**ほとんど**

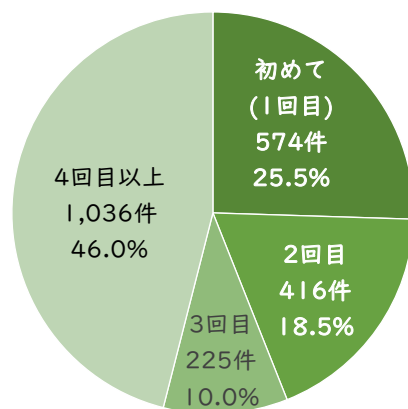
・認知方法は、テレビが**圧倒的に多く**、
SNSの中では、Instagramが最も多い

(3)本市の観光に係る現状

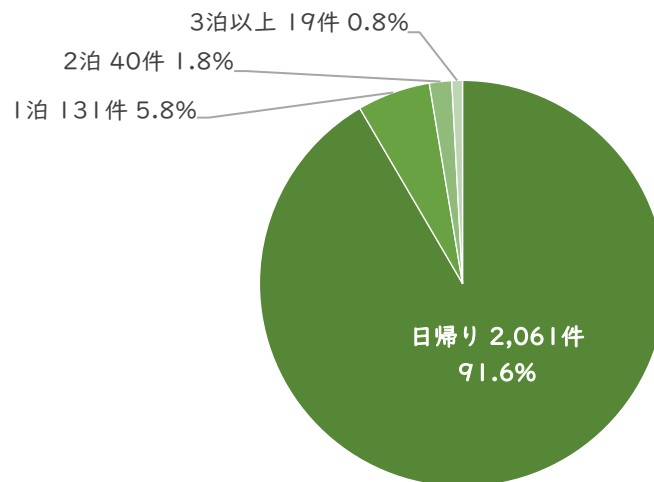
観光アンケート調査より

データから見る現状

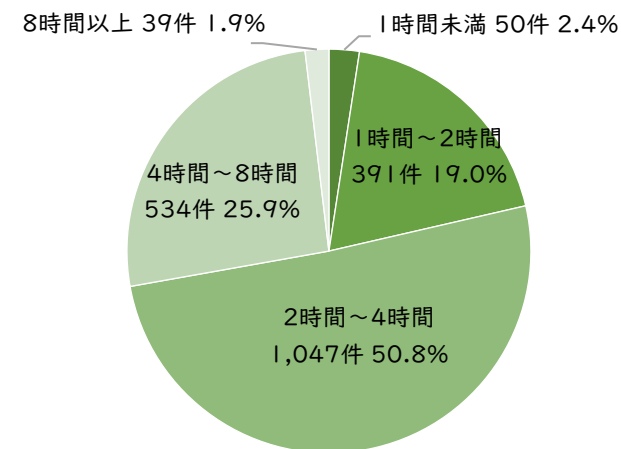
来訪回数



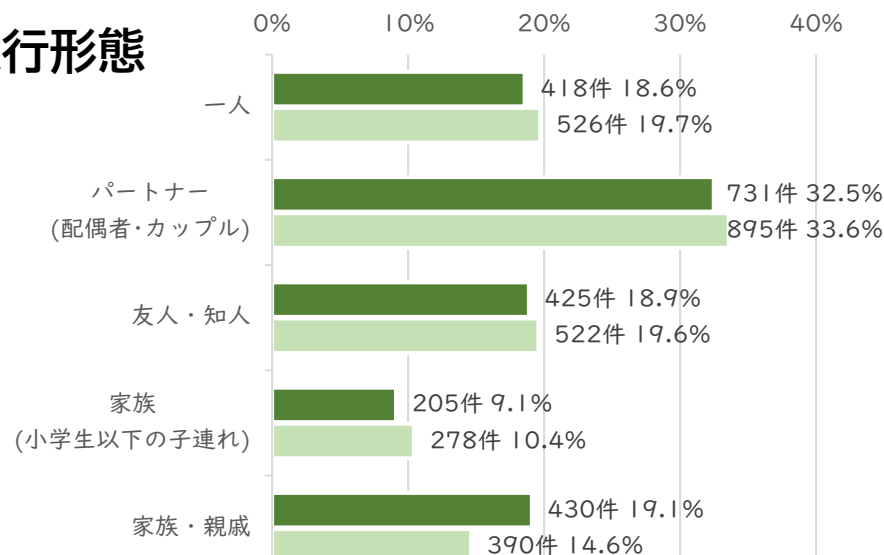
滞在期間



滞在時間



旅行形態



- ・リピーター割合は非常に**高く**、4回以上が最も高い
- ・日帰り観光客の割合は、調査開始の平成28年以来変わらず**9割以上**
- ・滞在時間は、4時間以内が**7割**

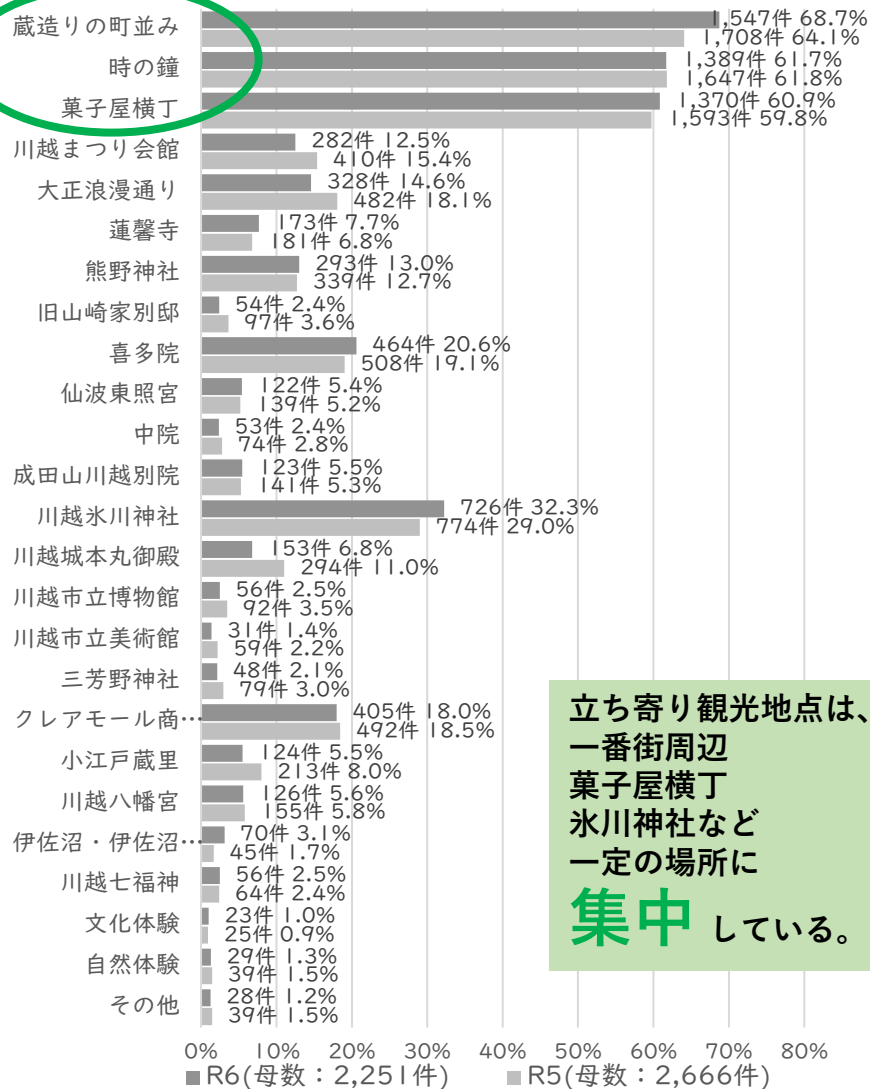
(3)本市の観光に係る現状

観光アンケート調査より

データから見る現状

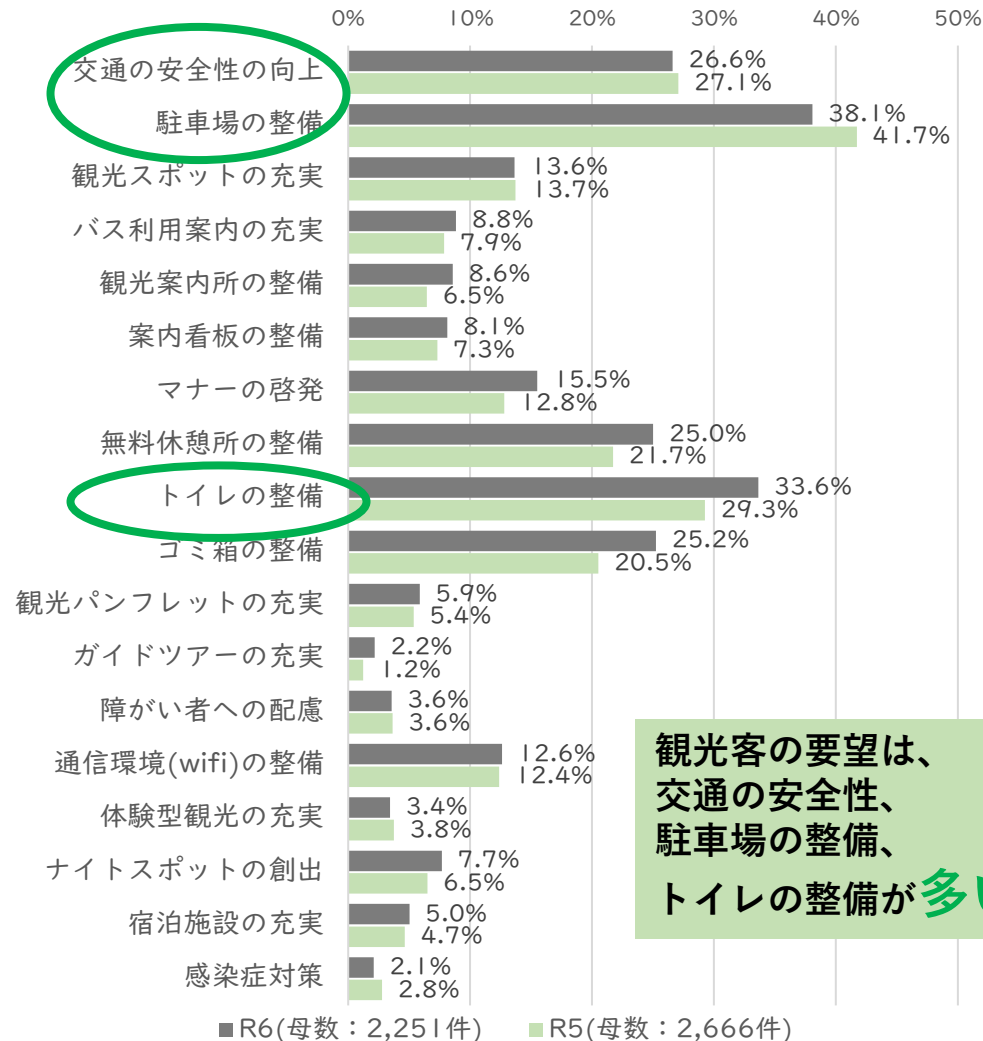
立ち寄り観光地点

回答割合



立ち寄り観光地点は、
一番街周辺
菓子屋横丁
氷川神社など
一定の場所に
集中している。

観光客からの要望



観光客の要望は、
交通の安全性、
駐車場の整備、
トイレの整備が**多い**

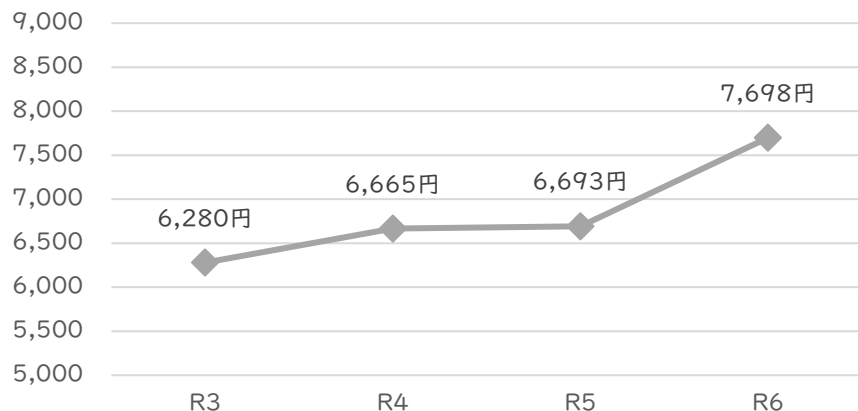
(3)本市の観光に係る現状

観光アンケート調査より

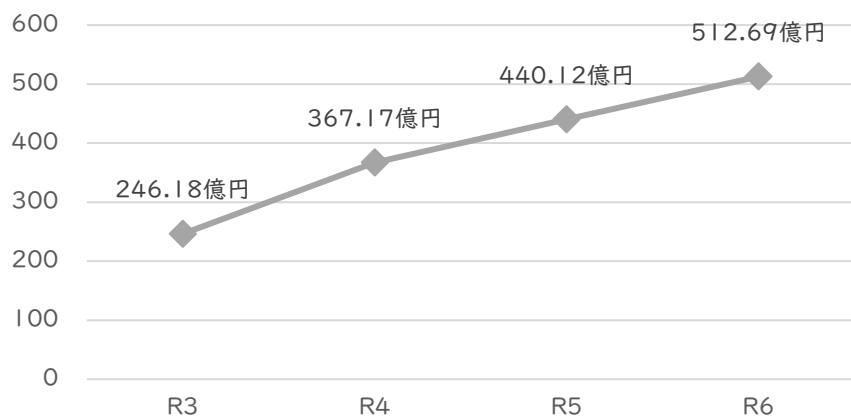
データから見る現状

経済効果

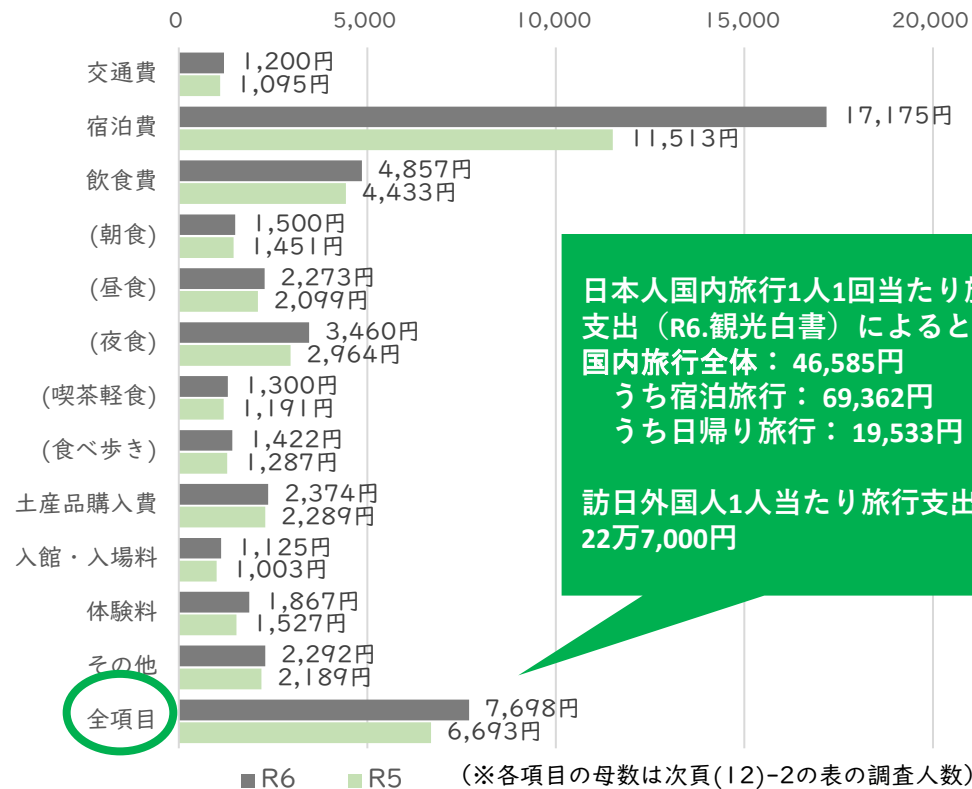
一人当たりの平均観光消費額の推移



観光消費総額(試算値)の推移



一人当たりの平均観光消費額 (円/人)



日本人国内旅行1人1回当たり旅行支出(R6.観光白書)によると
国内旅行全体：46,585円
うち宿泊旅行：69,362円
うち日帰り旅行：19,533円

訪日外国人1人当たり旅行支出：
22万7,000円

・消費額は年々増加しているが、
全国の消費単価と比較すると低い

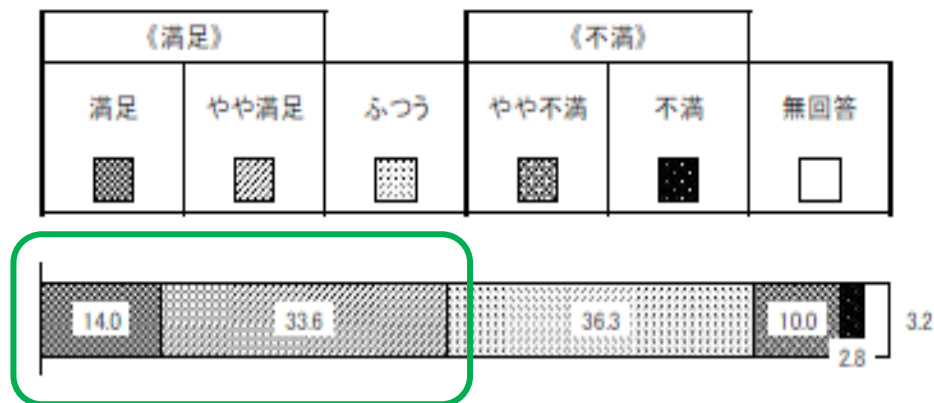
(3)本市の観光に係る現状

第15回 市民意識調査より

データから見る現状

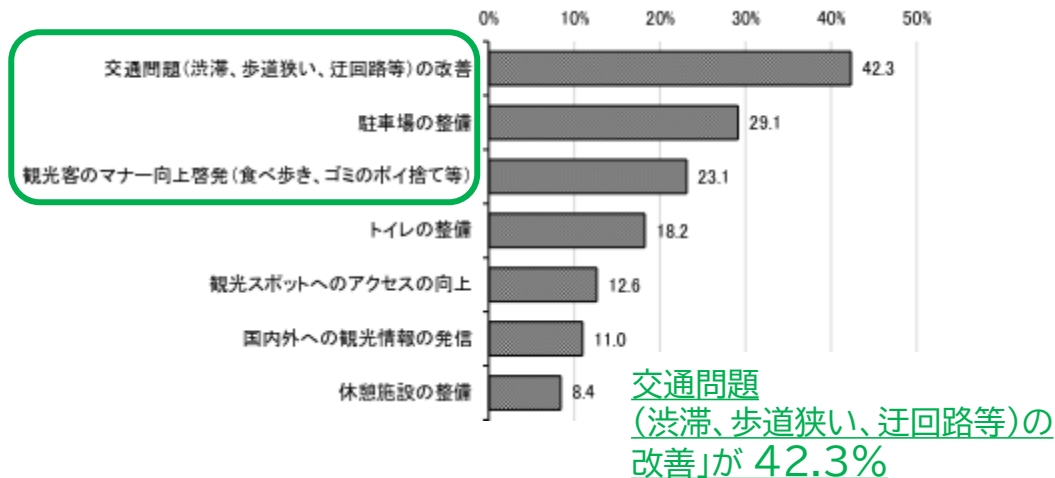
観光への満足度 満足47.6%

問 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか？



観光振興のために必要な施策

問 あなたは、ますます観光客が多く訪れる町になるためにどのような施策が必要だと思いますか？(2つまで選択回答)



満足度は、

「満足」の合計値が47.6%で、「不満」の合計値12.8%を大きく上回っている。

観光振興のために必要な施策は、交通問題の改善、駐車場の整備、観光客のマナーが上位3つで、観光客の要望と同様の結果になっている。

(3)本市の観光に係る現状

本市におけるオーバーツーリズム

交通

観光客が集中する北部市街地の一部の地域や時間帯において、歩行空間の混雑や車両との錯綜による危険等が生じ、観光客から不満が挙がっているほか、住民の通行やバスの運行に支障が生じている。



歩行者と車両の錯綜



車道へのはみ出し



車両の渋滞

観光環境

観光客による私有地への進入やゴミのポイ捨て等のマナー問題が生じている。



食べこぼしによる道路汚損



ごみのポイ捨て

観光客の集中

北部市街地の一部の地域と時間帯に観光客が集中しており、主要な観光スポット以外の認知度が低い。



議事

- (1) 現計画と現状から見る本市の課題について
- (2) 次期川越市観光振興計画の目指す姿について
- (3) 次期川越市観光振興計画の骨子案について

(1)現計画と現状から見る本市の課題について

課題

現計画の進捗からみる課題

- ①滞在時間が短く、北部市街地の一部の地域に観光客が集中していることから時間・場所の分散化が必要
- ②デジタル技術のさらなる活用による情報発信や川越の魅力発信が不足している
- ③増加傾向にある外国人観光客を含め、安心して観光ができる観光環境の整備が必要
- ④観光客の増加により、交通の安全性不足とゴミ環境問題が生じている
- ⑤地域内外の連携が不足している

現状からみる課題

- ①認知方法はテレビが多く、一番街を中心に報道されるため、観光客の集中に繋がっている
- ②日帰り観光と短時間の滞在時間は、10年前と比べて変わっていない
- ③観光客の要望として、交通の安全性、駐車場の整備、トイレの整備が依然として多い
- ④市民の要望として、交通問題の改善、駐車場の整備、観光客のマナー向上が依然として多い
- ⑤観光消費額が全国と比較して低い

オーバーツーリズムの現状からみる課題

- ①歩行空間の混雑や車両との錯綜による危険等が生じ、住民の通行やバスの運行に支障が生じている
- ②観光客による私有地への進入やゴミのポイ捨て等のマナー問題が生じている
- ③北部市街地の一部の地域と時間帯に観光客が集中しており、主要な観光スポット以外の認知度が低い

次期川越市観光振興計画における課題

- ①一部の地域と時間帯に観光客が集中しており、主要な観光スポット以外の認知度が低い
- ②観光客による私有地への進入やゴミのポイ捨て等のマナー問題及び交通問題が生じている
- ③デジタル技術のさらなる活用による情報発信や川越の魅力発信が不足している
- ④地域内外の連携が不足している
- ⑤観光消費額が全国と比較して低い

現計画

現状

オーバー

現計画

現状

オーバー

現計画

現計画

現状

(2)次期川越市観光振興計画の目指す姿について

現計画と現状から見る本市の課題等を踏まえ、次期計画では

「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」

の観光都市の実現 **を目指す姿とします**

住んでよし、訪れてよし、営んでよしの観光都市の実現には、本市が魅力ある観光地であり続ける必要があり、住民、観光客、事業者が、それぞれの立場を理解し、思いやりのある配慮した行動をとることが重要です。

住民は自分のまちに誇りと愛着を持ち、観光客は何度も訪れたくなり、事業者は気持ちよく事業を営むことができる、そんな観光都市を目指します。

(2)次期川越市観光振興計画の目指す姿について

基本理念

「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」の観光都市を実現するために、観光による消費額の増大を図り、市内の経済循環を高め、観光関連産業の振興や雇用の拡大へと繋げていく持続可能な観光都市小江戸川越を目指します。

本市の地域特性や観光の現状、施策の実施状況、基本理念を踏まえたうえで、本計画の実現に向けた**基本方針**を次のように定めます。

基本方針1

新たな観光資源の開発

本市の豊かな自然環境や歴史、文化を活かし、地域の特性を反映した観光資源の発掘・磨き上げ等により本市の魅力及び質の向上を推進します。

基本方針2

安心して楽しめる観光環境の整備

外国人を含む観光客が安心して快適に楽しんでもらえるよう受け入れ環境整備を行い、持続可能な観光の推進を図ります。

基本方針3

協働による観光づくりの推進

市民、事業者、観光関係者、市が一体となり、地域の観光資源を活用して、全市民が楽しみながら、まつりやイベント等への参加や観光客との交流を促進します。また、他の地方公共団体や観光関係者等とのネットワークを活用し、地域の特性を生かした広域観光を推進します。

政策

①～⑧

3つの基本方針に基づき、持続可能な観光都市の実現に向けて、次の8つの具体的な**政策**を推進します。

- ①本市が有する多様な観光資源の有効活用、②国内外からの誘客促進、③周遊促進と滞在時間の延伸、④宿泊機会の創出、⑤環境整備の充実、⑥持続可能な観光の推進、⑦市民の地域への愛着・誇りの醸成、⑧広域観光の推進

(3)次期川越市観光振興計画の骨子案について

基本理念

「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」の観光都市を実現するために、観光による消費額の増大を図り、市内の経済循環を高め、観光関連産業の振興や雇用の拡大へと繋げていく持続可能な観光都市小江戸川越を目指します。

基本方針1 新たな観光資源の開発

政策1 本市が有する多様な観光資源の有効活用

本市が有する文化財や歴史的建造物、伝統行事、豊富な自然環境などの観光資源の有効活用を図ります。

政策2 国内外からの誘客促進

本市の新たな魅力となりうる資源を発掘し磨き上げることで、更なる魅力の向上と国内外からの誘客促進を図ります。

政策3 周遊促進と滞在時間の延伸

市内各所の魅力的な観光資源を組み合わせ、観光客の周遊を促すことで滞在時間の延伸を図ります。

政策4 宿泊機会の創出

早朝や夜の時間帯における魅力を創出することにより、市内での宿泊機会の創出を図ります。

基本方針2 安心して楽しめる観光環境の整備

政策5 環境整備の充実

観光客が安心して快適に過ごせるよう、バリアフリー化などの環境整備や、多言語対応の充実など外国人観光客のニーズに対応した受入環境の充実を図ります。

政策6 持続可能な観光の推進

観光客の集中によるオーバーツーリズムを抑制するため、観光マナー対策や観光エリアの分散化、交通渋滞対策など総合的な対策を講じ持続可能な観光の推進を図ります。

基本方針3 協働による観光づくりの推進

政策7 市民の地域への愛着・誇りの醸成

全市民が楽しみながら本市の魅力を発見できるよう、まつりやイベント等への参加や観光客との交流を促進します。

政策8 広域観光の推進

地域全体の活性化につなげるため、他の地方公共団体や観光関係者等とのネットワークを活用し、地域の特性を生かした広域観光を推進します。